

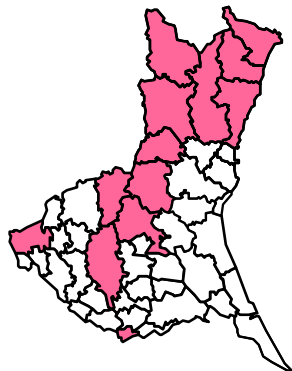
【地域の現状・課題】

- 本県の中山間地域の農用地面積(853ha)は、県内の農用地面積(125,100ha)に対する割合は約0.7%である。
- 中山間地域を含む市町村の農業産出額は県全体の約10%、農業従事者は県全体の約17%で、農業従事者における65歳以上の割合は約82%である。
- 中山間地域等直接支払制度を活用する集落では、人口減少や高齢化により集落協定そのものが減少傾向にあり、組織の維持・運営自体が困難な組織が多い状況。

【地域の位置】

【茨城県中山間地域等（ルネッサンス事業対象）】

〔中山間地域等： 特定農山村、振興山村、過疎等〕



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域の創意工夫にあふれる取組みや支援制度の活用事例集の作成

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 耕畜連携による飼料作物の導入や農作業体験などの交流事業の実施といった中山間地域農業の推進事例集を作成



中山間地域農業の優良事例集

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

優良な取組事例を活用した取組みの継続に向けた支援

- 作成した事例集を活用して、効果的な取組みを広く周知することで、中山間地域農業を活性化。
- 優良な取組を表彰し、地域活動の意欲を向上。



事例の紹介（耕畜連携による農地維持）



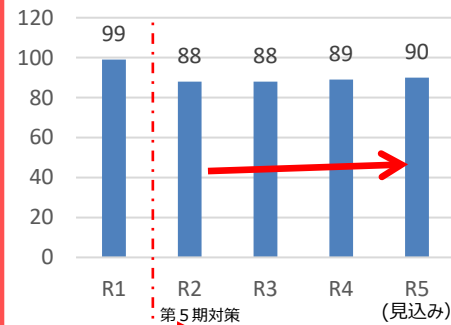
優良事例の表彰（県知事賞）

事業の効果

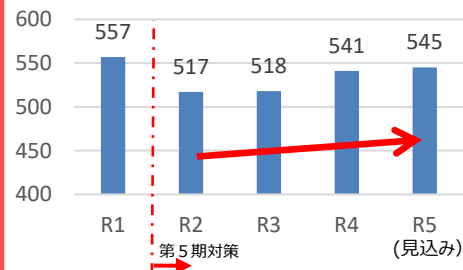
多様な地域の活動を維持

- 中山間地域等直接支払制度に取り組み集落協定数及び協定面積を維持

<中山間直接支払制度集落協定数> (協定)



<中山間直接支払制度集落協定面積> (ha)



多様な取組みの推進

広域協議会による棚田地域の一体的かつ効率的な振興

しおやみなみなす
【栃木県塩谷南那須地域】（那珂川町）

ながわまち

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値化
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T 技術
の活用

棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

【地域の現状・課題】

- 那珂川町の東部地区は水稻が盛んで“残したい栃木の棚田21”等の美しい田園風景を形成。
- 各集落では、中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産基盤の維持や棚田オーナー制度や農泊など、景観を活用した誘客に取り組んできた。
- 一方、高齢化・人口減少等により、農業をはじめ後継者不足が深刻化。
- 各集落では、中山間地域直接支払制度等事務負担の軽減、後継者の確保が急務。



集落ごとの話し合い

【地域の位置】

【栃木県塩谷南那須地域】那珂川町（東部地区）

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎等】



東部地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地図システムの導入及び棚田地域のPR

【元気な地域創出モデル支援】

地域課題解決に向けた広域協議会化の取り組み

- ① これまで各集落で行ってきた事務を広域化により一本化するとともに事務負担の軽減を図るため、地図システムを導入。



地図システム

- ② 高齢化・人口減少対策として、那珂川町の棚田地域の魅力を地域で一体的にPRし、交流人口の創出・拡大、移住定住の促進につなげるため、地域の棚田PR動画を制作。



棚田PR動画

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

広域協議会の設立及び棚田地域のPR

- 棚田地域の農地保全及び地域資源を活用した地域振興を一体的に実施する広域協議会「那珂川町中山間地域活性化協議会」を設立。



設立総会

- 棚田PR動画により、動画サイト、イベント等で那珂川町の棚田地域の魅力を発信。



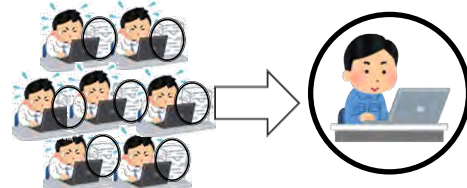
棚田PR動画の動画サイト掲載

事業の効果

棚田地域振興を目的とした広域協議会の設立及び交流人口の増加

広域協議会の設立に伴う効果

- ① 広域化による集約と地図システム導入により共同活動事務が効率化。



55集落協定

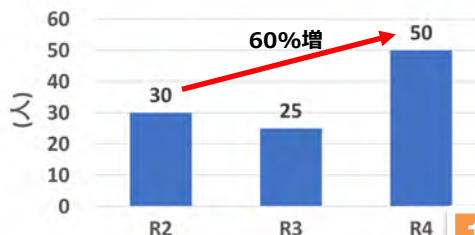
1 広域協議会

- ② ドローン・法面草刈機等の省力化機械を導入し、共同利用。
- ③ 棚田米をブランド化し、共同出荷。
- ④ 地域で一体的にPRし、棚田オーナー制度の交流人口が増加。



棚田オーナー制度作業風景

〈棚田オーナー制度交流人口〉



古民家整備（空き家対策）や特産品開発を契機とした農山村活性化の取組

せいぶ かなまち
【群馬県西部地域】（神流町）

元気な地域創出モデル支援					
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興
					複合経営・ 半農半Xの実践

【地域の現状・課題】

- 古民家の宿泊施設の他、山村体験の提供、恐竜センターや神流川での鯉のぼり祭り、溪流釣り、川遊び等に首都圏から観光客が来訪
- 伝統作物のアワバタ大豆、赤じゃが、柿など、少数多品目を栽培。自家消費が中心であるが、干し柿や味噌作りが盛ん。
- 高齢化・人口減少により、町全体が衰退（平成27年国勢調査：人口1,954人、65歳以上の割合56.1%）
- 農家数190戸のうち、自給的農家数は170戸（H27統計）。離農等による鳥獣被害、耕作放棄地の増加が懸念。
- 森林資源も豊富であるが、林業従事者確保が課題

【地域の位置】

【群馬県西部地域】（多野郡神流町）

〔指定地域：特定農山村、振興山村、過疎〕



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農泊地域の検討及び構想策定

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 神流町農山村活性化プロジェクト（他事業で整備した古民家の活用を検討、大学と連携して地域資源の発掘・利活用の検討）
 - ・専門家を招いて、地域の将来像を描くセミナーを開催
 - ・地域資源の活用事例について先進地視察
 - ・地域資源調査、将来像をもとに概略構想策定 等



古民家の活用を検討



商品開発(柿ペースト)



セミナー開催



ワークショップ

地域のやる気・元気 × 交流人口の増加 × 農業等所得向上 = 持続的な発展へ

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

農泊地域として取組を実施

- 伝統作物（アワバタ大豆など）を生かした特産品開発を行うとともにブランド化を推進 【農山漁村振興交付金（山村活性化対策）など】
- 豊富な森林資源や森林空間の活用も含め、農泊の取組により町全体の活性化を推進
【農山漁村振興交付金（農泊推進対策、農山漁村整備対策）】



郷土料理作り体験

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

鳥獣被害防止対策による農地等の維持

- 鳥獣被害防止対策の強化など、地域を下支えする取組を展開
【鳥獣被害防止総合対策交付金】

事業の効果

関係人口等の増加

- 特産品加工（味噌作り）の体験講座の実施



味噌作り体験

- 古民家等を活用し、関係人口等が増加



※新型コロナウイルスの影響により、令和2、3、4年度は令和元年度に対して減少となった。

【地域の現状・課題】

- 千葉県は温暖な気候と首都圏に位置する恵まれた立地条件、さらに農業者の高い技術と意欲に支えられる農業県である。
- 千葉県では、令和4年度現在で24市町（一部指定を含む）が中山間地農業ルネッサンス事業の対象地域となっている。
- 令和2年の基幹的農業従事者数は平成17年に比べ43%減少、65歳以上が占める割合は15%増加しており、中山間地域においてはこの傾向が顕著となっている。
- これらの状況を踏まえ、農山漁村の活性化に向けて、地域住民活動を指導する地域リーダーや地域資源の活用に係る取組が必要である。

【地域の位置】

【千葉県】

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島振興、指定棚田、農林統計上の中山間農業地域]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

農村の地域資源を活用した中山間地域づくりフォーラム等を開催

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 農村資源を活用した中山間地域づくり情報交換会や鳥獣被害対策フォーラム等を開催し、中山間地域の持続的な発展のための地域リーダーを育成

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援（優先枠等）

道の駅・直売施設を整備し、地域資源の魅力を発信

- 「道の駅木更津うまかつの里」や「道の駅保田小学校」などの交流拠点を整備し、農産物を直売することに加え、加工品・特産品開発等の副次産業化に向けた取組を展開

【農山漁村振興交付金】



道の駅木更津うまかつの里



道の駅保田小学校

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承（優先枠）

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した農地保全を推進
- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開



共同草刈の様子

【多面的機能支払交付金（支援事業）】

【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】

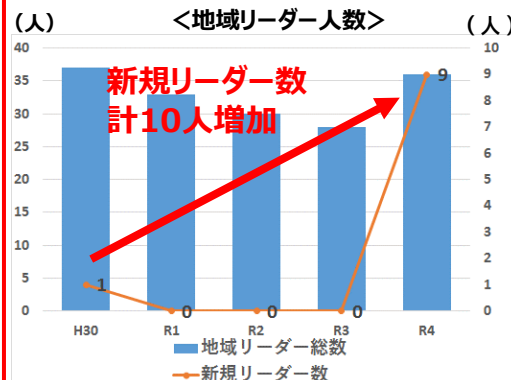
事業の効果

持続可能な中山間地域づくりを実現

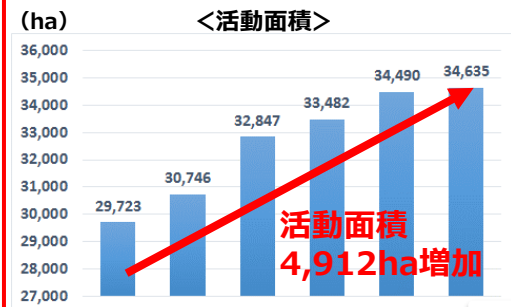
- 中山間地域における地域住民活動を指導する地域リーダーを育成



地域リーダーの育成研修



- 多面的機能の維持・発揮を図る取組の活動面積の増加



宝の土から地域への郷土愛を育てよう！～大塚にんじんをつかった地域づくり戦略～

きょうなん いちかわみさとちよう
【山梨県峡南地域】(市川三郷町)

中山間地農業
ルネッサンス
推進支援

高収益作物
の生産

高付加価値
・販売力強化

関係人口
の増加

I C T 技術
の活用

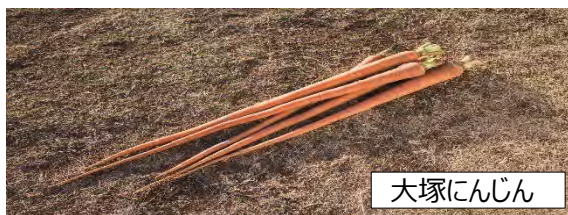
棚田地域
の振興

複合経営・
半農半Xの実践

元気な地域創出モデル支援

【地域の現状・課題】

- 大塚地区の農業は、水稻のほか、大塚にんじんやスイートコーン(甘々娘)、キウイ(レインボーレッド)などの生産が盛ん。
- 高齢化・人口減少により、農業をはじめ後継者不足が深刻な課題
(基幹農業従事者の65歳以上が占める割合: 80%(令和4年))
- 担い手不足、人口減少により耕作放棄地が増加し、農業産出額も減少している。
- 大塚にんじんや甘々娘、レインボーレッドなどの特産品の生産が盛んであるが、発信力などが弱く、県内外の知名度が低い。



大塚にんじん

【地域の位置】

【山梨県峡南地域】(市川三郷町大塚地区)

[指定地域: 特定農山村、過疎]



大塚地区

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域の個性や想いをつかみ関わりを横展開

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 基礎調査として、地域の関係者に取材し課題を洗い出し。
- 戦略調査として味覚の分析を行い強みを洗い出し、小冊子の作成、大塚にんじんのレシピ開発やイベントを行った。
- 市場の卸業者や飲食店にレシピを配布し地域の直売所とつなげることで売り上げ増を試みた。
- 推進調査として発信コンテンツや販促グッズを作成し、今後はSNS活用や高校生等との関係を築き、地域の魅力を発信していく。

取組内容の拡大

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援
(優先枠等)

地域の保育園児、小学生、中学生、高校生、県内の大学生との関わりを縦展開

- 地域の高校生を巻き込み【地域学】での味覚講話やテロワールの講話。フィールドワークを通じて興味を醸成。
- 関係人口創出として収穫体験や特産品を英語クイズにして交流。その様子を高校のマルシェで放映。
- 保育園児から大学生まで関わることで若者が希望の持てる地域づくり。



収穫体験英語で交流会の様子
【青洲高校生】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

売上増で地域の共同活動が維持される

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金(支援事業)】



共同活動の様子

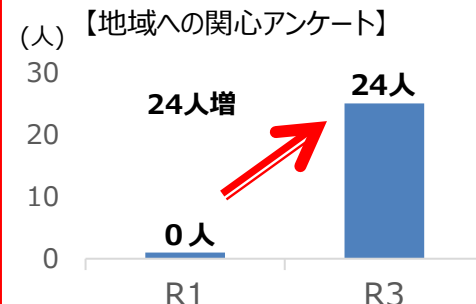
事業の効果

「おいしい」を数値化、見える化し販促に活用

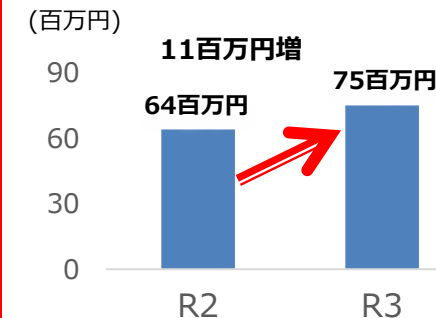
- 小冊子レシピ、チラシやポスターを作成



- 興味を持った生徒の人数



- 大塚にんじんなど、みたまの湯のつばい直売所総売上



地域資源を生かした農産物の高付加価値化による魅力ある農業の創出

かみいな いなし
【長野県上伊那地域】（伊那市）

元気な地域創出モデル支援					
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	I C T 技術 の活用	棚田地域 の振興

複合経営・
半農半Xの実践

【地域の現状・課題】

- 地域の高齢化率が進行
(高齢化率H23年: 37%→R3年: 43%)
- 人口減少、後継者不足等による
水田不作付地面積の増加
(水田不作付地面積H25年: 834,920㎡
→R3年: 841,830㎡)
- 在来農産物の高品質・高付加価値化
在来種ソバ
原種の不足・栽培技術の統一化
在来トウガラシ
生産者の確保・伝統野菜認定に向けた栽培
方法の統一化・商品開発

中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域在来農産物の高付加価値化

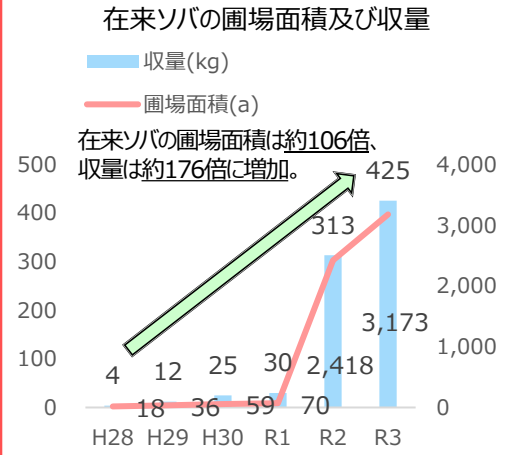
【元気な地域創出モデル支援】

- 在来ソバの研究・ブランド化
信州大学、入野谷ソバ振興会と協力し、種子の確保、商標登録・G
I 等の出願・申請、増産・栽培面積拡大に向けた栽培技術の確立、
栄養成分・食味分析等の研究。

そばの高品質、高反収確保を目的とした栽培指針の策定により、「プ
レミアム信州伊那ソバ」として市独自のブランド化の推進。
- 在来トウガラシの研究・ブランド化
辛味成分の分析、特性に合った加工品の試作等を通じ、伝統野菜
への登録に向けた研究。

事業の効果

ブランド定着による圃場面積等の増



事業完了後の展開

【地域の位置】

【長野県伊那市高遠町・長谷地域】

〔指定地域：過疎〕



高遠町・長谷地域

実証事業の成果を活用した取組

地域在来農産物の販路拡大

- 研究結果を踏まえたそばの試験販売を実施。
- 地元そば店との連携による提供体制の構築。
- 在来トウガラシの商品化。
- フォーラムの開催による知名度向上、ブランド化施策の研究。



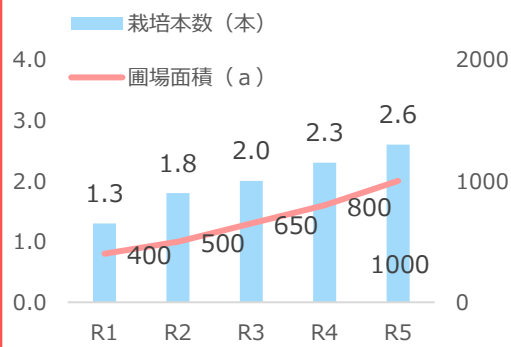
在来ソバ圃場



在来トウガラシ

- トウガラシ在来品種の圃場面積及び栽培本数は約2倍に増加する見込み。

在来トウガラシの圃場面積及び収量



地域資源を活かした都市住民との交流拡大と誘客商品の開発

ちゅうえん しゅうちぐんもりまち
【静岡県中遠地域】(周智郡森町)

元気な地域創出モデル支援					
中山間地農業 ルネサンス 推進支援	高収益作物 の生産	高付加価値化 ・販売力強化	関係人口 の増加	ICT技術 の活用	棚田地域 の振興
					複合経営・ 半農半Xの実践

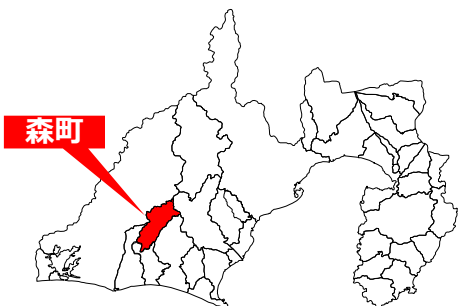
【地域の現状・課題】

- 天方地区は茶栽培が主体であるが、茶価の低迷や小区画・傾斜地茶園が多く、担い手及び生産量が減少
- 経営体の減少や高齢化により、地域の担い手確保が重要な課題
(農業経営体 102経営体 (2005年) → 42経営体 (2020年))
- 農地の荒廃防止のため、栗、こんにゃく、ブルーベリー等の新規作物の導入が進んでいる。
- 半夏生(はんげしょう)の群生地に続く小径が整備され、見頃の時期には多くの来訪者がある。
- 景観や棚田等の資源を活かした都市住民との交流拡大や他地区と連携した誘客商品の開発が必要

【地域の位置】

【静岡県中遠地域】(周智郡森町天方地区)

[指定地域：特定農山村、振興山村等]



地域密着型農業者等サポート体制強化事業

地域景観を活かした交流拡大と誘客商品の開発

【コーディネーターの配置】

地元に着目し商品企画に詳しいコーディネーターを配置し、都市住民との交流拡大、地域農産物を活かした新商品開発や既存商品の販売強化を実施

- 集落内の棚田で田植えや稲刈り、ブルーベリー収穫等の交流会を3回実施し、延べ85名が参加
- 半夏生の群生地に続く小径のライトアップ、SNS写真コンテストに65名、467作品の応募があった。
- 静岡県立農林環境専門職大学の現地調査演習を受け入れ、交流拡大や地域活性化方策を学生と一緒に検討
- ブルーベリービールに続き、規格外の梨から「梨麦酒"ペアビア"」を企画・製造し、1,840本を完売



半夏生パンフレット



梨麦酒

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

交流活動の定例化と開発商品の継続販売

- 棚田交流会による農作業体験や、交流活動を継続して実施し、地域の活性化や移住促進に取組を実践した。
- 梨麦酒と既存のブルーベリー商品を町内観光施設を中心に販売し、町内や地域内への誘客拡大を推進した。



棚田交流会チラシ



ブルーベリースーツ3種



ビール

事業の効果

交流促進と販売拡大

- 棚田交流会の協力体制を整え、継続参加者は18名、その内2組3名が地区に移住した。



棚田交流会の様子

- 古民家を活かした交流拠点施設の整備を進め、わら細工や栗拾い等の体験メニューを試行した。



栗拾い体験(専門職大学演習)

- 梨麦酒と既存のブルーベリー商品(ビール及びスイーツ3種)を継続販売し、定番商品として定着を図った。

